

2019年度 環境ユース海外派遣研修
～ インドネシア ～

募集要項



主催：独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部

協力：公益社団法人日本環境教育フォーラム(JEEF)

目次

1. 環境ユース海外派遣研修について	3
(1) 目的	3
(2) 各プログラムの日程	3
(3) 短期・長期コースの定員および対象	4
(4) 応募資格	4
(5) 研修参加費	5
2. 応募方法および応募締切日	5
(1) 応募方法	5
(2) 申込先	5
(3) 応募締切日	5
(4) 応募方法に関する注意事項	6
(5) ヒアリング	6
(6) 研修生の審査・通知	6
3. その他	6
4. 研修参加にあたっての注意事項	6
5. 問い合わせ先	7

別添資料

1. 現地派遣研修スケジュール(予定)

1. 環境ユース海外派遣研修について

(1) 目的

SDGs(持続可能な開発目標)が 2015 年の国連サミットで採択され、2030 年のゴール達成に向けて国内外で積極的に取り組まれています。

この研修では、環境問題や SDGs 達成に向けた事例を講義やフィールドワーク、地域住民との対話を通じて学びます。そして、環境保全活動に関する専門的な知識・ノウハウを身に付け、将来的に第一線で活躍することを目指します。

(2) 各プログラムの日程

環境ユース海外派遣研修は、「事前研修」、「現地研修」、「事後報告会」の 3 部構成で実施します。各プログラムの日程及び場所、ねらいは下記のとおりです。なお、現地研修の参加者は事前研修及び事後報告会への参加が必須となります。

事前研修

日程： 2020 年 1 月 11 日(土)9 時 30 分～18 時 00 分 (予定)

2020 年 1 月 12 日(日)9 時 30 分～15 時 30 分 (予定)

場所： 東京都内(予定)

ねらい： 研修の目的やスケジュールを理解します。また、環境保全活動に携わる際に必要な姿勢・考え方・スキルを学びます。

現地研修

日程(長期コース)： 2020 年 2 月 5 日(水)～2 月 24 日(月) (計 20 日間)

日程(短期コース)： 2020 年 2 月 14 日(金)～2 月 24 日(月) (計 11 日間)

場所： インドネシア (ジャカルタ特別州、西ジャワ州、バリ州)

ねらい： 環境問題の解決・SDGs 達成に向けた活動事例や課題を学びます。

* スケジュール(予定)については別添の参考資料をご確認ください。

事後報告会

日程： 2020 年 3 月 14 日(土)または 2020 年 3 月 15 日(日)のどちらか 1 日

場所： 東京都内または川崎市内(予定)

ねらい： 事前研修・現地研修を踏まえて作成した報告書を発表します。

(3) 短期・長期コースの定員および対象

短期・長期コースの定員および対象は下記のとおりです。

短期コース

定員： 5名

対象： 環境分野における一定の活動実績(2～3年程度)や知識を有する日本の環境NGO・NPOスタッフなど、就業しながら研修に参加する方を主な対象としています。

長期コース

定員： 5名

対象： 地球規模での環境保全活動に強い関心を持ち、開発途上地域における環境保全活動に参加する意欲を有する方を主な対象としています。

(4) 応募資格

短期・長期コースの定員および対象に加えて、下記の応募資格を満たす必要があります。

【短期・長期コース共通】

- ① 18歳以上 35歳以下の男女(高校生は不可、未成年者は保護者の同意が必要となります)。
- ② 研修の目的や趣旨を理解し、貫徹する意思や学習意欲があること。
- ③ 心身ともに健康で、事前研修から報告会まですべての日程に参加ができること。
- ④ 日本語でのコミュニケーションに支障がなく、簡単な日常英語を理解できること。
- ⑤ 安全面等に配慮した集団行動ができること。
- ⑥ 過去に当該研修に参加したことがないこと。
- ⑦ 一時的な短期滞在者(在留カードを有していない者、外国人登録をしていない者、過去1年間日本に滞在していない者、1年以内に日本から離れる可能性のある者)でないこと。
- ⑧ 行政機関に所属する者(国家公務員、地方公務員、独立行政法人職員)でないこと。

【短期コース希望者限定】

- ① 環境NGO・NPOでの活動実績を2～3年程度有していること。(所属団体からの推薦が得られれば、NGO・NPOスタッフのほか、ボランティアとして関わっている方も含みます。)
- ② 環境問題の基礎的な知識、所属団体が実施する活動をはじめ環境保全活動に関して 相応の知識を有していること。

(5) 研修参加費

短期・長期コースの研修参加費は下記のとおりです。

短期コース：5万円

長期コース：8万円

研修参加費は、現地研修に必要な経費(研修プログラム費用など)及び事前研修、事後報告会などの経費の一部に充当されます。ただし、次の経費は別途、各自で負担していただきます。

- 渡航書類等作成代行料金(パスポート、ビザの取得等)
- 飲食代
- 個人的性格の費用(クリーニング代、電話代、娯楽費等)
- 超過手荷物運搬料金
- 傷害、疾病に関する医療費
- 任意の海外旅行傷害保険
- 予防注射接種費

2. 応募方法および応募締切日

(1) 応募方法

独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金のホームページ

(<https://www.erca.go.jp/jfge/training/r01/haken.html>)から必要書類をダウンロードし、必要事項を記載の上、Eメールに添付してお送りください。提出書類は下記のとおりです。

① 2019年度環境ユース海外派遣研修 申込書

② 環境保全活動にかかる所属団体等からの推薦状

※提出は任意ですが、選考・評価の参考資料となります。

(2) 申込先

indonesia_training@jeef.or.jp (件名を「環境ユース海外派遣研修申込_氏名」としてください。)

※ 郵送での申込はできません。

(3) 応募締切日

2019年12月9日(月)17時(厳守)

(4) 応募方法に関する注意事項

- 必要書類や記載事項に不備があった場合は、審査の対象となりませんのでご注意ください。
- 応募いただいた方全員に 2019 年 12 月 10 日(火)までに、必要書類受領のメールをお送りします。上記の日までに受領メールが届かない場合は、「5. 問い合わせ先」までご連絡ください。
- 書面に記載された個人情報、選考の目的以外に利用することはありません。
- 応募書類の内容について、電話等によるヒアリングを実施いたします。詳細は(5)ヒアリングをご確認ください。

(5) ヒアリング

申込書類到着後、2019 年 12 月 13 日(金)までの間に 10 分程度電話等にて行います。ヒアリングの日程は必要書類到着後、メールにて調整を行います。

(6) 研修生の審査・通知

- 申込書類をもとに趣旨に照らして審査します。
- 選考結果は 12 月 27 日(金)までに、応募いただいた方全員に郵送で通知します。

3. その他

- 審査の結果、研修適格者が募集人数に満たない場合(最少催行人数：短期コース 2 名、長期コース 3 名)、または派遣先地域の治安状況や災害などで計画どおりの実施が困難になった場合、研修の実施を中止することがあります。
- 現地研修の参加者は、事前研修および事後報告会への参加が必須となります(交通費は別途支給)。
- 現地研修において旅行会社を通じ海外旅行損害保険に参加者全員加入します。

4. 研修参加にあたっての注意事項

1. 研修中は、主催者や協力機関の担当者(以下「主催者等」という。)の指示や決められた手順に必ず従ってください。主催者等や他の研修生に迷惑をかける行為、或いは決められた活動に参加しない等、主催者等が研修生としてふさわしくないと判断した場合は、研修生としての資格を失います。
2. 現地研修において、発現した持病や既往症に係る治療費などについては、海外旅行傷害保険の補償の対象となりません。この場合、治療費などの費用は、当該研修生の負担となります。また、引き続き研修に同行できる状態にならないときは、

研修生としての資格を失います。

3. 研修生としての資格を失った場合(研修生自己都合による辞退の場合を含む)に発生する各種のキャンセル料・手数料等は、原則として当該者が全額負担するものとします。また、現地研修中に資格を失い、予定外の行程で帰国する場合の旅費も当該研修生の負担となります。
4. 参加費は、研修全体に要する費用の一部に充当されるため、万が一途中辞退となった場合においても返金いたしません。
5. 現地研修中の事故や病気等が起こった場合は、海外旅行傷害保険の範囲内において補償するものとします。なお、研修先で研修生の故意または過失によって損害が生じた場合の賠償責任は全て当該研修生が負うものとします。

5. 問い合わせ先

公益社団法人日本環境教育フォーラム(担当：加藤、山口)

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-38-5 日能研ビル 1 階

TEL 03-5834-2897 FAX 03-5834-2898

Eメール indonesia_training@jeef.or.jp

※旅行手配については、別途旅行業者が行います。

別添資料 1 : 現地派遣研修スケジュール(予定) 1/2

日程		長期	短期	訪問先	プログラム内容	宿泊先
2/5	水	1		長期研修生出発:	GA875 便(予定) 11:45 羽田発 → 17:15 ジャカルタ着	ジャカルタ市内ホテル
2/6	木	2		国家開発企画庁	インドネシアにおける SDGs の取組みを学びます。	ジャカルタ市内ホテル
2/7	金	3		環境林業省	インドネシアにおける環境問題や解決に向けたパートナーシップ構築の取組みを学びます。	ジャカルタ市内ホテル
2/8	土	4		グヌン・ハリムン・サラック国立公園 (GHSNP)	2/8 午前 ジャカルタ → GHSNP エコツーリズムの体験や地域住民との意見交換を通して、国立公園における住民参加型の管理方法や課題を学びます。	GHSNP 内マラサリ村 ホームステイ
2/9	日	5			2/9 午後 GHSNP → ジャカルタ	ジャカルタ市内ホテル
2/10	月	6		JICA インドネシア事務所	インドネシアにおける日本の国際協力の現状や課題を学びます。	ジャカルタ市内ホテル
2/11	火	7		ジャカルタ廃棄物処分場	廃棄物処分場職員との意見交換やウエイスト・ピッカーの取組み視察を通して、廃棄物管理の現状や課題を学びます。	ジャカルタ市内ホテル
2/12	水	8		PT. Aqua Golden Mississippi	環境問題に熱心に取り組む飲料水メーカーを訪問し、インドネシアにおける CSR 活動の現状や課題を学びます。	ジャカルタ市内ホテル
				研修前半ふりかえり	研修前半の学びをふりかえります。	
2/13	木	9		休息日		ジャカルタ市内ホテル
2/14	金	10	NTPF Indonesia / Borneo Chic	はちみつや籐(ラタン)などの自然の恵みを活用した商品の生産・販売を通じた環境保全と生計向上の両立を実現している事例を学びます。	ジャカルタ市内ホテル	
			1	短期研修生出発:		GA875 便 11:45 羽田発 → 17:15 ジャカルタ着

別添資料 1：現地派遣研修スケジュール(予定) 2/2

日程		長期	短期	訪問先	プログラム内容	宿泊先
2/15	土	11	2	研修前半の学びの共有	長期研修生から短期研修生に対して、研修前半に学んだことや感じたことを共有します。	ジャカルタ市内ホテル
				WWF インドネシア事務所	国際 NGO である World Wide Fund for Nature (WWF) を訪問し、インドネシアにおける野生生物の保護や生物多様性保全の取組みを学びます。	
2/16	日	12	3	ジャカルタ湾岸マングローブ植林地	マングローブの伐採、エビ養殖地への転換、放棄までの環境劣化の過程や地域住民によるマングローブ林再生の取組みを学びます。	ジャカルタ市内ホテル
2/17	月	13	4	インドネシア先住民ネットワーク	先住民同士の連携を目指したネットワーク型 NGO の存在意義や伝統文化に根差した環境保全活動を学びます。	ボゴール市内ホテル
2/18	火	14	5	学校訪問	環境教育に力を入れている学校を訪問し、公教育における環境教育の取組みを学びます。また、研修生から子どもたちに対して環境アクティビティを実施します。	デンパサール市内ホテル
				長期・短期研修生移動:	便名未定 ジャカルタ発 → デンパサール着	
2/19	水	15	6	休息日		デンパサール市内ホテル
2/20	木	16	7	グリーンスクール	キャンパスツアーやワークショップを通して、持続可能な社会を担うリーダー育成の取組みを学びます。	デンパサール市内ホテル
2/21	金	17	8	バリ環境教育センター	バリ島における海洋ごみを中心とした廃棄物管理を学びます。また、ビーチ・クリーンイベントに参加します。	デンパサール市内ホテル
2/22	土	18	9	アクションプラン作成 / 発表	研修での学びを踏まえて、バリ島の環境問題の解決を目指したアクションプランを作成します。また、作成したアクションプランはバリ環境教育センター職員に対して発表します。	デンパサール市内ホテル
2/23	日	19	10			長期・短期研修生帰国
2/24	月	20	11	日本到着・解散		